

平成29年度 全国学力・学習状況調査の結果について

平成29年9月

おおい町教育委員会

平成29年4月18日(火)に、小学6年生と中学3年生を対象にした全国学力・学習状況調査が実施され、本町児童生徒も参加しました。町全体としての結果の概要と今後の対応等についてお知らせします。

1 調査の概要

(1) 調査の趣旨(文部科学省より)

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。また、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。

(2) 調査科目等と内容

①教科

「国語A、算数A・数学A」……主として「知識」に関する問題

- ・身につけておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容
- ・実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能など

「国語B、算数B・数学B」……主として「活用」に関する問題

- ・知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する問題
- ・様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力など

②生活習慣や学習環境

- ・学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面に関する調査

2 調査結果

(1) おおい町の児童・生徒の成績

おおい町の児童・生徒の学力がどの程度かを、国や福井県の平均正答率と比較した時、次の表のようになります。

☆：国や県の平均正答率より5.0ポイント以上上回っている。

◎：国や県の平均正答率より2.5ポイント以上上回っている。

○：国や県の平均正答率の上下2.5ポイント未満である。

△：国や県の平均正答率を2.5ポイント以上下回っている。

×：国や県の平均正答率を5.0ポイント以上下回っている。

対象学年	小学6年生			
教科・分野	国語A	国語B	算数A	算数B
全国平均	74.8	57.5	78.6	45.9
おおい町平均	◎	△	○	○
県平均	78	60	82	51
おおい町平均	○	×	○	×

対象学年	中学3年生			
教科・分野	国語A	国語B	数学A	数学B
全国平均	77.4	72.2	64.6	48.1
おおい町平均	☆	☆	☆	☆
県平均	82	77	73	54
おおい町平均	◎	☆	☆	◎

この表でわかるように、おおい町の6年生は、国語A・算数Aでは福井県の児童と比較して同等の力をつけていますが、国語B・算数Bでは課題が見受けられます。中学3年生は、福井県の生徒と同等以上の力をつけています。

(2) 各教科別の分析結果

各教科における学力の状況は、次のとおりです。詳細は、各学校の報告をご覧ください。

<小学校国語>

○良かった点

- ・漢字を正しく読んだり書いたりすることに成果が見られる。
- ・記述式の問題において無回答の児童が大変少なく、よく書けている。

●改善を要するところ

- ・俳句の情景や表現の特徴を捉えて読むことに課題がある。
- ・目的や意図に応じて、文章全体の構成を考えることに課題がある。
- ・話し合いの様子から、スピーチメモのよさを捉えることに課題がある。

<小学校算数>

○良かった点

- ・無回答率が低く、自分なりに考え、答えを記述しようとする意識が高い。
- ・計算の仕方や仕組みについての理解が来ている。
- ・数量の関係を式に表したり、式の意味を読み取ったりすることに成果が見られる。

●改善を要するところ

- ・割合や割合につながる（単用量を基準とした）数量のとらえ方に課題がある。
- ・問題文と表、図、グラフ等を関連づけ、必要な情報を読み取ることに課題がある。

<中学校国語>

○良かった点

- ・国語A問題、B問題ともに平均以上の生徒の割合が高い。
- ・文脈に即して漢字を正しく書くことが出来る。
- ・文章の構成や展開、表現の特徴について自分の考えを持つことが出来る。
- ・文章の構成を工夫してわかりやすく書くことが出来る。

●改善を要するところ

- ・場面の展開や登場人物の描写に注意して読み、内容を理解することに課題がある。
- ・古典の種類についての理解に課題がある。

<中学校数学>

○良かった点

- ・数学A問題、B問題ともに平均以上の生徒の割合が高い。また、無回答率も低く、課題に対して主体的に取り組もうとする生徒が多い。
- ・「数と式」領域の定着が良好である。
- ・関数についての基礎的概念や性質の理解に成果が見られる。
- ・「資料の活用」領域の用語の意味理解に成果が見られる。

●改善を要するところ

- ・平面図形の性質を基に論理的に考察することに課題がある。
- ・説明や証明をするときに、適切な数学的表現を用いて記述することに課題がある。

(3) 生活態度・学習状況

<小学校>

○良かった点

- ・学校の宿題をしっかりとっている児童が多い。
- ・学校へ行くのが楽しいと感じている児童が多い。
- ・学級みんなで協力して何かをやり遂げ、うれしかったことがある児童が多い。
- ・将来の夢や希望を持っている児童が多い。
- ・学校の授業の復習をしている児童が多い。
- ・学校の授業時間以外に、勉強をする時間の割合が高くなった。

●改善を要するところ

- ・学校図書館や地域の図書館を利用する児童が少ない。
- ・週末の家庭学習の時間が少ない。
- ・家の人と将来について話す児童が少ない。
- ・地域・社会などでボランティア活動に参加したことがある児童の割合が低い。

<中学校>

○良かった点

- ・学級みんなで協力して何かをやり遂げ、うれしかった生徒が多い。
- ・学級などの話し合い活動で、自分と異なる意見や少数意見のよさを生かしたり、折り合いをつけたりして話し合い、意見をまとめている生徒が比較的多い。
- ・話し合う活動をよく行っていたと思う生徒が多い。
- ・自分で計画を立てて勉強している生徒が多い。

●改善を要するところ

- ・新聞を読む生徒の割合は低い。
- ・週末の家庭学習の時間が少ない。
- ・学校の授業の予習・復習をしている生徒の割合が低い。
- ・読書する生徒の割合が低い。
- ・普段、TV・DVDを視聴する時間が長い生徒が多い。

教育委員会と学校の取り組み

今回の全国学力・学習状況調査で、おおい町の児童生徒の良かった点、改善すべき課題が明らかになりました。明らかになった課題を改善するため、県教育委員会や嶺南教育事務所の指導を受けながら、学力の向上と、豊かな心を持った児童生徒の育成のため、

- ・町教育委員会では、施設や備品の充実、講師や支援員の配置など、教育環境の整備や学校の支援に努める。
- ・学校は、課題を改善するための取組を行うとともに、研修や研究をとおして指導力の向上や授業改善などに取り組み、学力向上に取り組む。
- ・町内の学校が連携し、情報交換しながら指導の充実に努める。

以上のように、児童生徒の学力の向上に取り組みますので、ご協力をお願いします。

保護者の皆様へのお願い

今回の調査で、おおい町の児童生徒の良い点や課題が明らかになりました。しかし、国語、算数・数学の限られた教科であることや、紙面の調査であることなどから、把握できたのは学力の一部分ですので、この調査結果だけで学力のすべてや学校評価をされないようにお願いします。

児童生徒がしっかり学習出来るためには、生活が安定していることが大切です。規則正しい生活や時間の使い方、将来の目標など、ご家庭でお子さんと話し合ってください、適切な指導をお願いします。

全体の様子について述べましたが、各校からも状況が報告されますので、お子さんの通っておられる学校の状況や取り組みにご理解くださいますようお願いいたします。

なお、各校では、児童生徒を行き過ぎた競争に巻き込むこと、この調査結果だけの学校評価やランク付けになることを避け、平均正答率の公表や記号で表すことも行いませんのでご理解ください。